

《数学・授業の達人》大賞 結果発表

2008年5月から9月までに募集した「東京理科大学 《数学・授業の達人》大賞」におきまして、予想以上のご応募をいただきました。厳正なる審査の下、優秀賞・最優秀賞をそれぞれ2名ずつ選出しましたので、ご報告いたします。

主催者挨拶[↑]

この度の「《数学・授業の達人》大賞」の授賞式には、大勢の方のご参列をいただき主催者を代表して厚く御礼申し上げます。

「教師は授業で勝負する」と申しますが、応募していただいた先生方の授業の様子が、まさにそれを物語っております。その中でも、最優秀賞2名と優秀賞2名の授業は大変感銘を覚えるものでした。これらの先生方の授業風景を模擬授業の形で再現していただくのが本筋でしたが、時間の関係上それが出来ず残念でありました。初めての試みで、反省点も幾つかありますが、今後の運営に生かしていきたいと思っております。どうかよろしくご指導、ご鞭撻のほどをお願い致します。

数学教育研究所 澤田 利夫

受賞者[↑]

提出書類とビデオ映像による第一次審査、数項目の評価による第二次審査を経て、以下のように決定しました。

最優秀賞[↑]

東京学芸大学附属世田谷中学校 山崎 浩二 先生

- 授業タイトル 「カードを並べて」
- 単元：文字と式

東京女学館中学・高等学校 半田 真 先生

- 授業タイトル 「グラフ電卓を用いた数学的活動」
- 単元：整式の因数分解

優秀賞[↑]

筑波大学附属駒場中・高等学校 牧下 英世 先生

- 授業タイトル 「正17角形の作図可能性」
- 単元：三角関数

茨城県立古河第一高等学校 小林 徹也 先生

- 授業タイトル 「証明問題の解法を仮定と結論の両方向から考えることの指導」
- 単元：空間のベクトル

表彰式[↑]

2008年11月3日に開催された「東京理科大学 ホームカミングデー2008」において、本賞の表彰式、ならびに最優秀賞受賞者2名による模擬授業を行いました。



左より順に、牧下先生、半田先生、澤田、山崎先生、小林先生

開催概要[↑]

[こちら](#)をご参照ください。すでに応募は終了しております。

主催／企画：東京理科大学数学教育研究所
共催：東京理科大学理学研究科理数教育専攻、東京理科大学理窓会

Last-modified: 2009-11-01 (日) 16:18:04

Site admin: [anonymous](#)

PukiWiki 1.5.4 © 2001-2022 [PukiWiki Development Team](#). Powered by PHP 7.4.30. HTML convert time: 0.009 sec.